

第25回社員教育活動全国研修・交流会

メインテーマ

共育が企業を強固なものに ～強い絆でビジョンをカタチに～

開催目的

- ①各同友会の社員教育活動の成果・教訓を交流し、今後の取り組みの発展につなげる。とりわけ「労使見解」を基礎に据えた「人を生かす企業づくり」の交流。
- ②東日本大震災の発生と復興に向かう情勢の中で、社員教育活動の意義を再確認し課題を共有する。
- ③「中小企業憲章」閣議決定も踏まえ、日本国内の教育問題、教育の在り方について考え・交流する。

と き

11月14日(月)13:30開会 ～ 20:30閉会
11月15日(火)9:00開会 ～ 12:30閉会

と ころ

ワークピア横浜

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 24-1(山下公園前、県民ホールとなり)TEL: 045-664-5252
地下鉄みなとみらい線日本大通り駅 3 番出口を出て、山下公園方面に向かい徒歩 2 分です。

参加費

10,000 円 (宿泊費別)

※宿泊は各自自己手配でお願い致します。(横浜は宿泊パックが充実しております)

スケジュール

	13:30	15:00	16:00	18:00	18:45	19:00	20:30	9:00	10:30	10:40	12:00	12:30
1 日 目	全体会 基調講演	分科会 報告	グループ 討論 ※休憩込	討論発表 補足報告 まとめ	フック イ	懇親 パーティー		2 日 目	講演	休憩	グループ 討論	討論発表 補足報告 まとめ

主催/中小企業家同友会全国協議会

TEL 03-5215-0877

URL: <http://www.doyu.jp>

設営担当/神奈川県中小企業家同友会

横浜市西区浅間町 1-6-10 小金井第 2 ビル 4 階 TEL045-316-2031

URL:<http://www.kanagawa.doyu.jp>

参加申込要領 お申し込みはあなたが所属する同友会事務局へ。

申込締切/11月4日(金) ※11月4日(金)以降のキャンセルは出来ません。(参加費の全額を申し受けます)

第25回社員教育活動全国研修・交流会 参加申込書

会社名	お名前	役職	分科会

基調講演 14日 13:45～14:45

「危機対応力が問われる時代～社員と会社の強い絆をつくるために～」

提起者 鋤柄 修氏 中同協会長 (株)エステム代表取締役会長

1941年7月愛知県生まれ。1991年(株)エステム代表取締役社長、2002年同代表取締役会長に就任。

2002年中小企業家同友会全国協議会幹事長、2007年同会長に就任、現在に至る。

(株)エステム 会社概要

設立:1970年、資本金:7,000万円、事業内容:水処理施設維持管理、環境ソリューション、環境調査分析ほか

社員数:434名(出向、派遣等含む、2011年2月1日現在)

1970年、大学の同級生と起業した鋤柄氏は、8年で目標の年商3億円を達成します。ところが、賞与の配分をめぐって労働組合ができ、その対応を学ぼうと1980年に愛知同友会に自ら入会しました。

以来、「経営指針づくり」「社員教育」など経営課題に同友会での学びを通して真摯に取り組み、創業以来黒字経営を続け会社を大きく発展させてきました。鋤柄氏の、自己変革と研さんの実践と同友会での学び、業績を上げる原動力と同友会運動との関わりから学びます。

○第1分科会(神奈川)

- ・テーマ:同友会と共に歩んだ我が社の社員共育 ~私が学び、実践した「社員の幸せ、やりがい」~
- ・報告者(株)総合環境分析 代表取締役 石渡 裕 氏(代表理事)
- ・事業概要:設立1983年、資本金2000万円、年商5億8千万、社員数58名
環境分析業(水質、土壌、大気等)、URL:<http://www.s-kb.co.jp>
- ・概要:環境調査の専門集団をめざした石渡氏。7年間のサラリーマン時代の経験から、社員の『やりがい』をなによりも重視したいと考えて、同友会に出会いました。最初は反対する社員もいる中で同友会の経営指針(理念、方針、計画)を浸透させるべく、社員と共に奮闘する姿勢を貫いてきました。その甲斐あって社員が変貌を遂げ、自社の危機を救ってくれるまでに成長します。同友会との歩みの中で、共育に関する自社の取り組みが、どのように息づく事になったのかお話しいただきます。

○第2分科会(埼玉)

- ・テーマ:社員が主役になれる会社を目指して ~共に育ち合える風土作り~
- ・報告者:トマル電気工業(株) 代表取締役 都丸亮一 氏(共同求人委員長)
- ・事業概要:設立1960年、資本金2000万円、年商7億6千万、社員数55名
東京電力(株)発電所のトータルエンジニアリング、各官庁の一般電気工事
URL:<http://www.tomaru.co.jp>
- ・概要:8年半のサラリーマン生活を終え家業を継ぐことになったものの、そこに待っていたのは、旧態依然のワンマン経営と職人気質のベテラン社員たち。このままでは会社が衰退すると危機感を抱き「自ら考え行動出来る社員になる」「後輩社員を育てることが出来る社員になる」を目指して社内の意識改革を推進し、共に育ち合える風土作りに挑戦。

○第3分科会(大阪)

- ・テーマ:共育の社風は、経営者の決断から!~社員の成長と経営戦略を結びつける社員教育・評価制度を確立~
- ・報告者:田代珈琲(株) 代表取締役 田代和弘 氏(理事・経営本部社員教育部長、ブロック経営委員長)
- ・事業概要:設立1953年、資本金1000万円、年商1億9千万、社員数20名
コーヒー製造販売業
URL:<http://www.tashirocoffee.co.jp/>
<http://www.tashirocoffee.com/>
<http://www.rakuten.co.jp/coffeeeyasan/>
- ・概要:経営指針の実践から10年を経た同社では、社員が定着しないという課題に幾度となく取り組みましたが、成果が生まれませんでした。社員が定着しない原因は、全て経営者にあると気づいたのは、経営指針合宿時に社員からの百数十枚に上る不平不満のポストイットが貼り出された瞬間でした。以後、職場環境の改善、新卒採用への取り組み、社員教育への取り組みに着手します。現在、社員の成長と経営戦略を結びつける社内評価制度を確立、「あきらめない完熟共育」の社員共育方針のもとに、全員成長の実現に取り組んでいます。

○第4分科会(群馬)

- ・テーマ:「経営指針と共育の実践で、イキイキ企業づくり」~会社の発展は、社長と社員の成長とともに!~
- ・報告者:(株)山岸製作所 代表取締役 山岸良一 氏(副代表理事/共育部会長)
- ・事業概要:設立1962年、資本金3000万円、年商10億5千万、社員数90名
ニードルベアリング・半導体製造装置・工作機械・宇宙航空機などの精密機械部品加工、試作・開発から量産加工、URL:<http://yamagishi-ss.com>
- ・概要:1997年同友会へ入会し、真っ先に参加したのは延べ8日間の「経営指針をつくる会」だった。当時「うちにはろくな社員がいない」と愚痴をこぼしていた山岸氏だが、修了時には「社員への不満は育てようとしてこなかった自分の責任、俺がバカだった。まずは自分が変わらねば!」と気づかされる。以後、経営指針と共育に力を注ぎ、社員とともに同社は着実に変化していった…。そんな同社をも襲ったリーマンショック。仕事量は2割にまで激減したが、いち早く雇用は守ることを宣言。更に「仕事のない今こそ学びどき」と、稼働2日にに対し研修に週3日を費やし、徹底して教育研修に取り組む。その結果、仕事が7割まで回復した時点で、前年並みの利益を出すまでに企業体質はいっそう強化された。「この教育訓練を継続していこう」と2010年には群馬県認定の職業訓練校「ヤマギシテクニカルセンター」を開校、教育環境整備にますます拍車がかかる…。

「“今どきの若者”その背景を考える」~社員が輝く会社をどうつくるか~

講師 中西新太郎氏 横浜市立大学 国際総合科学部 教授

1948年生まれ、東京立大学人文学部卒、鹿児島大学教育学部勤務を経て1990年より横浜市立大学勤務。

現代日本社会論・文化社会学

著書(一部)

- ・「シャカイ系の想像力 若者の気分」岩波書店、2011年
- ・「21世紀への透視図 ― 今日の変容の根源から 哲学から未来をひらく」(共著)青木書店、2009年
- ・「ンエリート青年の社会空間 ― 働くこと、生きること、「大人になる」ということ」(共著)大月書店、2009年
- ・「1995年 ― 未了の問題圏」大月書店、2008年
- ・「フツ―をつくる仕事・生活術 ― 28歳編」青木書店、2007年
- ・「フツ―を生きぬく進路術 ― 17歳編」青木書店、2005年
- ・「若者たちに何が起きているのか」花伝社、2004年

若手社員が短期間で会社を辞めたりすると“今どきの若者は…”と言いたくなるものです。中には短期間で転職を繰り返し、不安定な就労形態を望んでいるかのように見える場合もあります。中西氏は若者のこうした行動を社会学の立場から研究し、数多くの著書や講演実績があります。中西氏の調査研究からは、若者たちが「安心できる人間関係」を強く求め、そうした職場で「長く働きたい」と願っている姿が浮かび上がります。“今どきの若者”はどのような時代背景で育ってきたのか、彼らが会社に定着し、生き生きと成長するためには何が大切なのか、中西氏の講演から学びます。